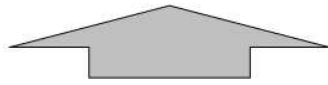


事務事業名 シニアクラブ活動推進助成事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：191

施策：	10	高齢者福祉の充実	財務コード	01030102-11-00
基本事業：	01	社会参加といきがづくり	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	地域活動等に参加している高齢者の割合 生きがいを持っている高齢者の割合		担当課	高齢者支援課
			担当係	高齢者福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和46年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
筑紫野市シニア連合会及び連合会に加盟する単位老人クラブ			筑紫野市老人クラブ活動等社会活動促進事業費補助金交付規程等に基づき、筑紫野市老人クラブ連合会及び連合会に加盟する単位老人クラブの運営・活動等に対して、助成金を交付し、活動を支援するもの。							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			【根拠となる要綱等（上記以外）】							
対象団体の各種社会参加活動等を支援することで、高齢者の生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりにつながることも、活力のある高齢者の地域活動等の促進につながっている。			・老人福祉法（第13条）							
			・福岡県高齢者社会活動推進事業費補助金交付要綱							
			【組織体制】全国老人クラブ連合会 都道府県老人クラブ連合会 市町村老人クラブ連合会 単位老人クラブ							
			【手続き】交付申請書（報告書及び計画書含む）の提出 交付決定 交付							
			【助成種別】							
			単位老人クラブ運営費助成 4,320円×12月×加盟単位クラブ数							
			市シニア連合会運営費助成 1,170円×12月×加盟単位クラブ数							
			体育振興費助成金（ゲートボール大会や体力測定）							
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	目標	
			実績	実績	当初	要求	計画	計画		
会員数		人	3,078	3,091	3,210	3,100			3,210	
単位クラブ数		クラブ	59	60	60	60			60	
5. コスト										
事業費		計	千円	4,036	4,167	4,685	4,685			
		国	千円	0	0	0	0			
		県	千円	2,289	2,343	2,493	2,493			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0	0			
		一般	千円	1,747	1,824	2,192	2,192			
正職員人工数		人工	0.15	0.15	0.25					
正職員人件費		千円	1,199	1,213	2,016					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	5,235	5,380	6,701	4,685				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている		【状況】クラブ数は増えたが、会員数は微増であった。								
どちらかといえばあがっている		【原因】連合会は会員増強のための取り組み（呼びかけ・研修・会議）を強化して成果も見られており、1単位クラブが加入となったが、会員数は、会員の高齢化に伴う病気・死亡等による会員減が上回っていることが原因と思われる。								
あがっていない（停滞・低下）		【その他】平成29年中に1単位クラブが新設し、平成30年度には60クラブとなる見込み。全国的に老人クラブ離れが進む中で、筑紫地区では他市町の加入率が10%を下回る中で唯一10%を上回っている。（H29.4.1現在 12.8% H30.4.1現在 12.2% H31.4.1現在11.9%）								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	あり	今後ますます高齢者が増え、高齢者の社会参加やネットワーク作りにおいて老人クラブの果たす役割は大きくなっている。新しいクラブ結成や新規加入者の動きもあり、グラウンドゴルフやウォーキング等高齢者の仲間づくりや無理なくできるスポーツ・レクリエーション推進の旗振り役となっている。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし							
成果向上余地	大きい									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
会員数に応じた助成金への見直しに向けた課題整理や将来的な事業費増額の可能性に配慮した配分基準等の検討を、連合会と協議していきます。				補助金の根拠法令等が同一の事務事業は以下のとおり。 ・単位老人クラブ運営費助成事業 ・生きがいづくり仲間づくり事業（旧老人シルバー祭り事業） ・老人クラブ研修助成事業						
令和元年度より補助金に係る要綱を一とする3つの事務事業の統合を図り、本事業に以下の2つの事業を加えます。 ・生きがいづくり仲間づくり助成金事業										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄						
生きがいと健康づくりのための社会活動が行われ、老後の生活を豊かに、明るい長寿社会づくりのため。超高齢社会にも突入し、地域包括ケアシステム構築における多様な社会資源の1つとして老人クラブ活動の活性化は必要と思われる。										